

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

事業名 周産期医療対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3237)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 719 千円 (前年度予算額： 719 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	719	239	0	0	0	0	0	0	480
要求額	719	239	0	0	0	0	0	0	480
決定額	719	239	0	0	0	0	0	0	480

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県の周産期の体制を整備し、関係機関の連携の強化、保健医療従事者の質の向上を目的とし事業を行う。

(2) 事業内容

- ①周産期医療協議会の開催
周産期医療の課題の明確化と改善を図るための会議を開催。
- ②周産期医療関係調査の実施
周産期医療協議会で示唆された周産期医療ネットワーク体制の課題解決に向けた現状分析及び調査研究の実施。
- ③周産期医療関係者研修事業
災害時における小児周産期医療の調整を担当する「災害時小児周産期リエゾン」を養成するため、国が実施する研修会へ派遣。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/3（医療提供体制推進事業費補助金）、県2/3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	263	周産期医療協議会委員報償費
旅費	393	周産期医療協議会委員旅費、業務旅費
需用費	13	協議会資料
役務費	26	郵送代
使用料	24	協議会会場使用料
合計	719	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・周産期医療の体制構築に係る指針
- ・第7期岐阜県保健医療計画 第3部—第2章—第9節 周産期医療対策

(2) 国・他県の状況

「周産期医療の体制構築に係る指針」において、都道府県は周産期医療協議会を設置し、周産期医療体制の整備に関する協議を行うこと、周産期医療関係者に対する研修を行うことを掲げている。

(3) 後年度の財政負担

県において、周産期に関する体制整備、新たな課題等への対応の検討が必要であり、今後も継続して事業を実施していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

「周産期医療の体制構築に係る指針」により、都道府県の役割として周産期医療体制整備が掲げられているため、県が事業を実施する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

周産期に関する課題について各関係機関が情報を共有し、課題解決に向け協議し、より安心して子どもを産み、育てられる体制を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

周産期の体制を整備し、関係機関の連携の強化、保健医療従事者の質の向上が本事業の目的であり、目標の達成度を定量的な指標で表すことができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 「周産期医療協議会の開催」令和3年1月25日 小児周産期分野での災害対応体制の整備等、新たな周産期医療の課題を含め、周産期医療体制に関する事項について協議を行った。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「周産期医療協議会の開催」令和4年2月4日 三次周産期医療機関ネットワーク事業の実績報告、妊婦救急搬送マニュアルの改正、周産期死亡症例の検討等、周産期医療体制に関する事項について協議を行った。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「周産期医療協議会の開催」令和5年3月3日 三次周産期医療機関ネットワーク事業の実績報告、妊婦救急搬送マニュアルの改正、周産期死亡症例の検討等、周産期医療体制に関する事項について協議を行った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由
や期待する効果 など